

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2018年度の収支につきましては、七尾大田火力発電所2号機の計画外停止に伴う石炭火力発電所の稼働減や水力発電受電量の減少等があったものの、販売収入の増加や経費全般にわたり徹底した効率化に努めた結果、増収増益となりました。

また、2018年度の配当につきましては、3年ぶりの黒字決算となったものの、依然として厳しい収支状況であることなどを踏まえ、見送ることとさせていただきます。株主の皆さまには誠に申し訳なく存じますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

当社は、2019年4月に2030年度までの期間をターゲットに「北陸電力グループ2030長期ビジョン」を策定いたしました。

長期ビジョンにおいて、北陸電力グループ理念である「Power & Intelligenceでゆたかな活力あふれる北陸を」に基づき、「北陸と共に発展し、新たな価値を全国・海外へ」を当社グループの将来の「ありたい姿」として掲げております。

この「ありたい姿」には、小売全面自由化における厳しい競争を勝ち抜くと同時に、新たな価値を創造することによって当社グループの成長を実現し、北陸の持続的な発展や豊かな暮らしの実現に貢献するとともに、更には北陸以外にも羽ばたくという想いを込めております。

ありたい姿の実現に向けた2つの基本戦略として、「北陸を基盤とした『総合エネルギー事業』の拡大」、「新たな成長事業の開拓」に取り組んでまいります。社会的に責任のある総合エネルギー事業者として事業を展開することで、当社グループの持続的な成長を実現し、財務目標として掲げた連結自己資本比率、連結経常利益、事業

ポートフォリオ目標の達成を目指してまいります。

また、2030年度に向けた具体的な実行計画として「第一次中期経営計画<2019～2022年度>」を策定いたしました。この期間は将来のありたい姿の実現に向けた最重要期間であり、「回復・挑戦期」と位置付けております。グループ一丸となって足もとの諸課題を着実に解決していくとともに、新たな事業領域に挑戦することで、将来の成長に向けた土台を形成してまいります。

大きな変化の中にあっても、低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けするという変わらぬ使命のもと、当社グループの創業の原点である北陸地域に根差し、地域の発展に貢献するとともに、未来へ向けた新たな価値を創造し、大きく成長していける企業グループを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月  
代表取締役会長 久和 進  
代表取締役社長 金井 豊  
社長執行役員

## 2018年度 決算概要

		(億円)		
		2018年度 (A)	2017年度 (B)	増減 (A)-(B)
連結	売上高 (営業収益)	6,229	5,962	266
	経常利益	66	26	39
	親会社株主に帰属する 当期純利益	25	△4	30
個別	売上高 (営業収益)	5,755	5,491	264
	経常利益	24	△56	80
	当期純利益	24	△41	66

## 北陸電力グループ2030長期ビジョン

当社は、2019年4月に「北陸電力グループ2030長期ビジョン」を策定し、「北陸と共に発展し、新たな価値を全国・海外へ」を当社グループの将来の「ありたい姿」として掲げました。その実現に向け、以下の2つを基本戦略として取り組んでまいります。

### 基本戦略①：北陸を基盤とした総合エネルギー事業の拡大

2030年に向け、事業環境の変化に対応した設備の再構築や安定的な運用、新たな価値の創造・サービスの展開、積極的なエリア展開などにより、競争力の強化と事業領域の拡大を目指してまいります。

<2030年度までの計数目標>

発電部門	■ 再生可能エネルギー発電電力量＝+20億kWh/年*1 (＝再生可能エネルギー比率3割)
	■ 石炭消費量は10%削減/年*1 (バイオマス混焼増加等による)
	■ 省エネ法に基づく環境指標の達成 －火力総合発電効率＝44.3% －火力発電効率の実績値/目標値＝1.00

※1 2018年度対比

販売部門	■ 総販売電力量＝400億kWh/年
	■ 高度化法に基づく環境指標の達成 －販売電力量に占める非化石電源比率＝44%
	■ 温室効果ガス排出係数＝0.37kg-CO <sub>2</sub> /kWh*2
	■ LNG累計契約量は20万t

※2 「電気事業低炭素社会協議会(当社を含む電気事業連合会関係各社および新電力の一部で構成)で目指す目標

### 基本戦略②：新たな成長事業の開拓

今後の環境変化を見通したうえで、保有する経営資源を最大限活用し、将来の課題解決を目指した、新たな事業領域を創出してまいります。

<新規事業の方向性>

- 既存の技術・知見・ノウハウを活かした事業エリアの拡大(全国・海外へ)
- 当社の地場優位性を活かした北陸地域での新製品・サービス展開
- 北陸での成功事業を、域外へも展開

<集中的に取り組む分野>

- 地域の課題解決
- 保有資源と新技術を融合した新たなサービス
- 海外電力事業

また、志賀原子力発電所の早期再稼働、総合エネルギー事業の拡大や社会ニーズも踏まえた新規事業の創出を通じ、以下の3つの財務目標を達成してまいります。

### 財務目標

1. 連結自己資本比率 2030年度までに30%以上
2. 連結経常利益 期間平均(2019～2030) 350億円以上
3. 事業ポートフォリオ 2030年度頃までに連結経常利益ベースで  
電気事業：電気事業以外＝2：1

## 北陸電力グループ第一次中期経営計画<2019～2022年度>

当社は、長期ビジョン達成に向け、2030年度までの12年間を3等分し、足元4カ年の具体的な実行計画として「北陸電力グループ第一次中期経営計画<2019～2022年度>」を策定いたしました。

第一次期間の2019～2022年度については、「回復・挑戦期」と位置づけ、将来のありたい姿実現に向けた最重要期間と考えております。

「安定供給の確保」、「総合エネルギー事業の競争力強化」、「グループ総力による事業領域拡大」、「企業文化の深化」という経営方針の4本柱のもと、諸課題へ着実に取り組んでまいります。

北陸電力グループ2030長期ビジョン、第一次中期経営計画の詳細な内容につきましては、当社ホームページに掲載しております。

<http://www.rikuden.co.jp/hoshin/index.html>

### 当社ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社の最新の情報のほか、株主さま向けの情報を掲載しております。

<http://www.rikuden.co.jp/index.html>

## 株主さま限定 当社施設見学会のご案内

【見学先】志賀原子力発電所 など

【見学コース】	実施日	発着場所	予定時間	募集人数
①	8月31日(土)	金沢駅	8:20～16:50	40名
②	9月3日(火)	福井駅	7:40～17:50	40名
③	9月10日(火)	富山駅	8:10～17:50	40名

【お申し込み方法】当社ホームページをご参照のうえご応募ください。

<http://www.rikuden.co.jp/kabukengaku/>

【お問い合わせ先】北陸電力株式会社 総務部株式チーム

076-441-2511(代表)

